

令和6年度おすすめ 人権教育・啓発用ビデオの紹介

大切なひと (34分)

企画：兵庫県

主人公の友だちは動画投稿サイトに部落の動画をアップする。そこに映されたものは、幼い主人公を本当の家族のように可愛がってくれたおばちゃんの家であった。友だちとともに動画を削除したが、削除したはずの動画がネット上に拡散してしまう。さらに殺到する誹謗中傷。ネット社会における部落差別について、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をともに考えることのできる作品です。



いわれなき誹謗中傷との闘い

～スマイリーキクチと考える

インターネットにおける人権～ (20分)



根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受けたスマイリーキクチさん。ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、ご本人に出演いただきながら、実際の事例を考えていきます。ネットでの誹謗中傷やデマがたいへん大きな問題となっている中で、自分事として考えることのできる作品です。

言葉があるから・・・ (31分)



主人公は何気ない自分の言動に決めつけがあったことを様々な人との出会いの中で気づいていきます。あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション」について考え、属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さについて確かめられる作品です。

心をつなぐ、はじめの一步

(26分)

「ハラスメント」をはじめとした職場における人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いに認めて尊重する気持ちの大切さを、主人公とともに考えていきます。誰もが生き生きと生きていくために何が必要なのか、「心をつなぐ、はじめの一步」を踏み出すヒントを与えてくれる作品です。



障害のある人の気持ち

私たちの一步 (18分)



実際に車いすを体験した二人の中学生のレポートと、パラアスリートのインタビューを通し、障害のある人がどのような手助けが必要とされているのか、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる合理的配慮の提供とはどのようなものかについて私たちには何ができるのかという視点で考えることのできる作品です。

多様性の芽をはぐくむ (12分)

自分とは異なる他者との出会い、また他者と異なる自分への気づきなど、子どもたちが経験しうる様々な場面をアニメーションで描き、あらゆる個性を尊重し、「人と同じ」であることにこだわる必要はなく、自分らしく生きていくことの素晴らしさを伝えてくれるアニメーション作品です。

